



第21期 株主通信

2017年4月1日 ~ 2018年3月31日

JM ジャパンマテリアル株式会社

証券コード：6055

ごあいさつ

Greeting

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、当社グループ第21期(2017年4月1日から2018年3月31日まで)事業年度が終了いたしましたので、ここに営業の概況についてご報告申し上げます。



代表取締役社長 田中久男

おかげさまで、第21期の売上高は278億31百万円、営業利益は58億79百万円となり、5期連続増収増益、最高益更新と右肩上がりの成長を遂げております。これもひとえに株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

最先端技術を有する半導体・液晶工場を支える技術者集団として、日本が世界に誇る半導体・液晶の国際競争力向上に向けてこれまで以上にお役に立てる存在になりたいと思っております。

皆様のご期待に沿えるよう、これからも邁進してまいります。

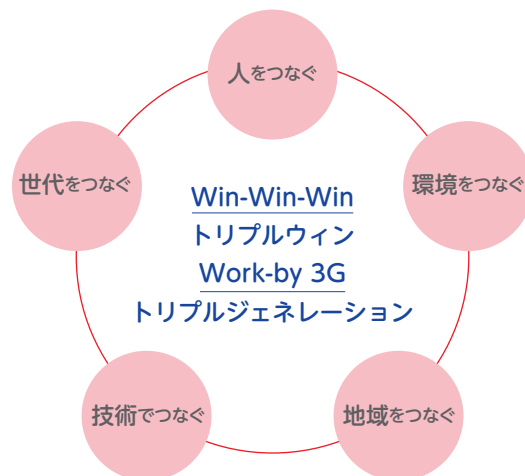
■経営ビジョン

Win-Win-Win(トリプルウィン)

Work-by 3G(トリプルジェネレーション)

■特徴

- ・当社は、「安全最優先」「お客様は良きパートナー」「お取引先と地域の皆様は良きサポーター」「社員は家族」を企業理念とし、安全・安心を基軸とした「安全最優先」の意識のもと、お客様の期待を超える質の高い商品やサービスを提供しております。
- ・半導体及び液晶関連工場向けにインフラ設備事業を展開しているエレクトロニクス関連事業、画像・映像・放送に関わる画像処理製品の販売・保守を行うグラフィックスソリューション事業を2大柱として事業を展開しております。



ジャパンマテリアルは、お客様・お取引先と地域の皆様・社員の3者に利益をもたらす「Win-Win-Win」、18歳～70歳代の3世代が働ける「Work-by 3G」を掲げ、更なる成長を追求していきます。

第21期ダイジェスト

Summary

売上高

278億31百万円

前年同期比24.7%増



営業利益

58億79百万円

前年同期比29.0%増



経常利益

59億41百万円

前年同期比29.5%増



親会社株主に帰属する当期純利益

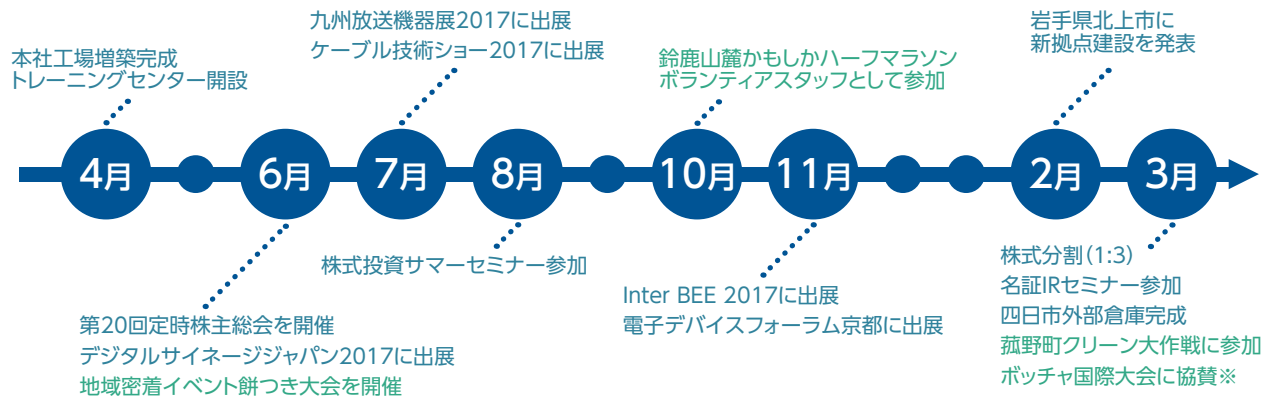
41億00百万円

前年同期比34.4%増



- イニシャル部門は主要顧客の積極的な設備投資に伴い好調に推移
- オペレーション部門は主に国内及び海外での特殊ガス販売、半導体製造装置メンテナンス、オンサイト事業が順調に推移

トピックス



※BISFed 2018 ISE Regional Open (英記名)

事業紹介

Business Outline

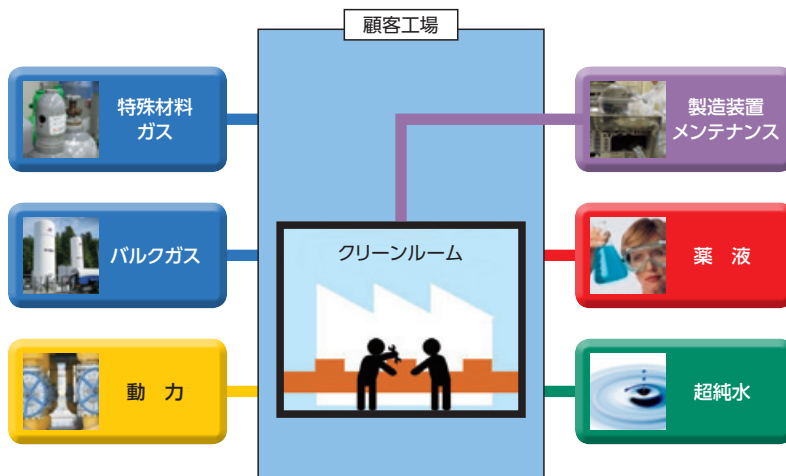
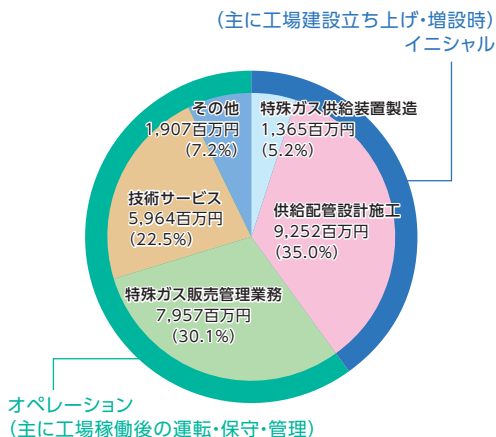
エレクトロニクス関連事業

事業内容

半導体・液晶等の製造工程で不可欠な特殊ガス、超純水、薬液等に関連するインフラ事業、動力・空調等を含めたライフライン管理を一括して請負うトータルファシリティマネジメントを中心に事業展開しております。更にお客様工場の中心部に関わる半導体製造装置の保守・メンテナンス、セカンドパーツの製造・販売等の技術サービスを提供しております。



エレクトロニクス関連事業 内訳



岩手県北上市に新拠点建設を予定

当社は、主要顧客が岩手県北上市へ新工場を建設することに伴い、近隣に新たな事業拠点となる「北上事務所」及び「北上事業所」の建設を予定しております。同工場の建設に伴う供給配管工事等への対応、また生産開始に伴う技術サポート体制を整えることで、更なる事業拡大を図ってまいります。

◆北上事務所概要

所在地：岩手県北上市
村崎野22地割156番1
稼働予定：2018年10月

◆北上事業所概要

所在地：岩手県北上市
流通センター156番3
稼働予定：2019年2月



※事業所イメージ図

グラフィックスソリューション事業



グラフィックス製品

マルチディスプレイ用グラフィックボード、デジタルサイネージ関連商品等の販売・サポート、コンテンツ制作、システム構築を行っております。

小売店やレストラン、美術館・博物館、金融機関、教育機関、医療機関、アート・エキシビジョン等幅広い分野で活用されています。

放送用機器

3Dキャラクタージェネレーターやスタジオオートメーションシステム、その他各種放送に関わる製品等の販売・サポートを行っております。

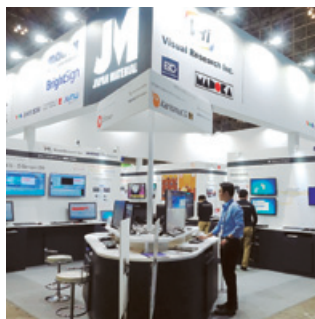
放送局やポストプロダクションで採用されています。

3D CADビューワソフト

顧客の「もっと気軽に、簡単に」の声に応え、3次元データ有効活用を目的とした技術系アプリケーションを開発・販売しております。

Inter BEE 2017に出展

2017年11月15日から17日の3日間幕張メッセで行われた「Inter BEE 2017」に出展しました。本イベントは日本随一の音と映像と通信のプロフェッショナル展として、国内外からコンテンツビジネスにかかわる最新のイノベーションが一堂に会する国際展示会です。Matrox社製のグラフィックス製品やBrightSign社製デジタルサイネージプレーヤー、VNS社製のエッジレンディングプロセッサ等を展示したほか、VRI社製リアルタイム3Dキャラクタージェネレーターのファイルベース編集デモを行いました。





当期の業績についてお聞かせください。

当社グループのエレクトロニクス関連事業において、主要顧客である半導体工場における大容量メモリの大幅な増産に向けた設備投資が引き続き実施されたことから、設備投資に伴い発生するイニシャル部門は好調に推移しました。また、生産活動に伴い発生するオペレーション部門は、主要顧客である半導体・中小型ディスプレイ工場での生産活動が順調に推移したことから、主に国内及び海外での特殊ガス販売、半導体製造装置メンテナンス、オンサイト事業が順調に推移しました。

グラフィックスソリューション事業においては、展示会を通じて製品のPR活動や、取引先に対する積極的な営業活動を継続したことで、主にデジタルサイネージ向け販売を中心に堅調に推移しました。

太陽光発電事業では、三重県内で3か所の太陽光発電所(出力合計3.9メガワット)が稼働しております。

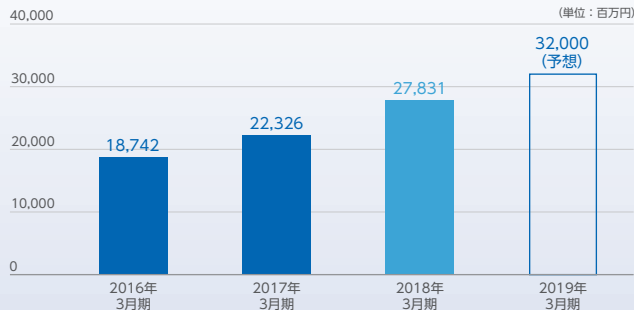
以上の結果、業績に関しては下記のとおりになりました。

業績ハイライト

売上高

278億31百万円

前年同期比
24.7%増

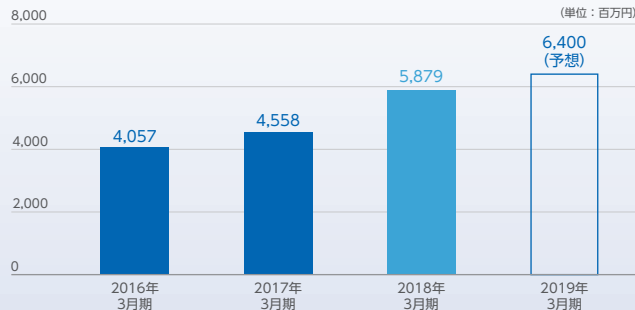


※2019年3月期の予想は2018年5月11日現在のものです。

営業利益

58億79百万円

前年同期比
29.0%増



次期の見通しについてお聞かせください。

当社グループが属する半導体業界におきましては、車載向けやデータサーバー向けの需要が市場をけん引し、中小型ディスプレイ業界におきましては、スマートフォンや車載向けの需要が市場をけん引するものと予測されます。

このような状況の中、当社グループは、新規顧客の開拓や既存顧客における事業範囲の拡大を積極的に行い、事業領域の拡大を図ってまいります。

エレクトロニクス関連事業におきましては、オペレーション部門の半導体製造装置メンテナンスにおいて、顧客からの需要に応えるべく、積極的に技術者の採用を行うとともに、当社において技術者を育成し人材を確保することで事業領域を拡大し、当社グループの強みであります「トータルファシリティマネジメント(TFM)」を活かして他社との差別化を図り、お客様の期待以上の価値を提供することで安定収益基盤の拡大を図ってまいります。また、インシャル部門では、主要顧客における大型設備投資が継続

的に実施されることが見込まれるため、積極的な営業活動を展開することで確実に受注に繋げてまいります。

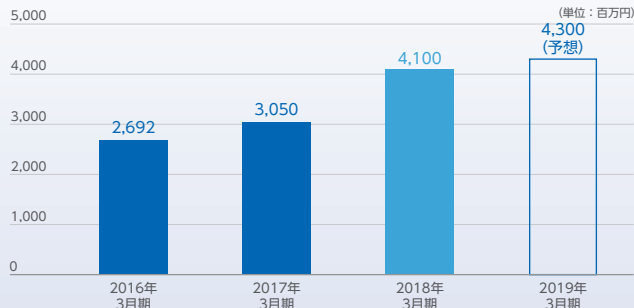
一方、グラフィックスソリューション事業におきましては、デジタルサイネージ分野では商品のコンテンツ制作からシステム構築のトータルソリューションを提供することで、東京オリンピック・パラリンピックや訪日外国人観光客向けに多言語で情報提供するスマートフォン連動型デジタルサイネージの普及活動を推進してまいります。さらにパソコン関連部品であるマルチディスプレイ用グラフィックボード等積極的な営業活動を展開することで販売拡大を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも、一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

親会社株主に帰属する当期純利益

41億00百万円

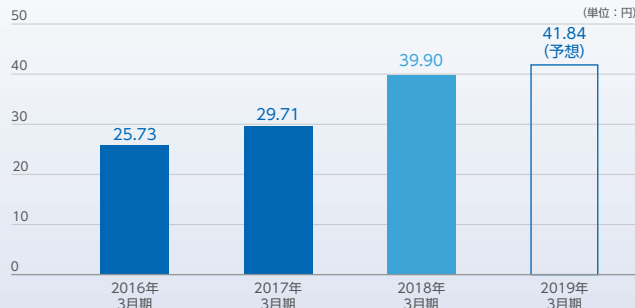
前年同期比
34.4%増



1株当たり当期純利益

39円90銭

前年同期比
34.3%増



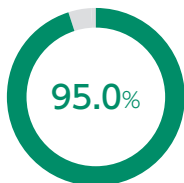
※2017年1月1日付けで普通株式1株につき2株、2018年3月1日付けで1株につき3株の株式分割を行っており、2016年3月期の期首に当該株式分割が行われたものとして1株当たり当期純利益を表示しております。

事業概況

Segment Overview

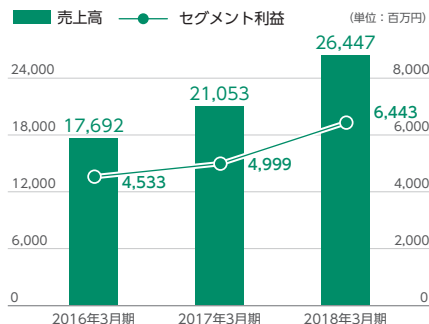
エレクトロニクス関連事業

事業別売上高比率



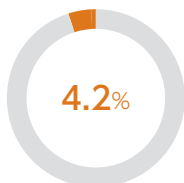
売上高	264億47百万円 (前年同期比 25.6% 増)
セグメント利益	64億43百万円 (前年同期比 28.9% 増)

半導体製造装置メンテナンス事業が拡大
特殊ガス販売管理業務、技術サービス等のオペレーション部門が順調に推移



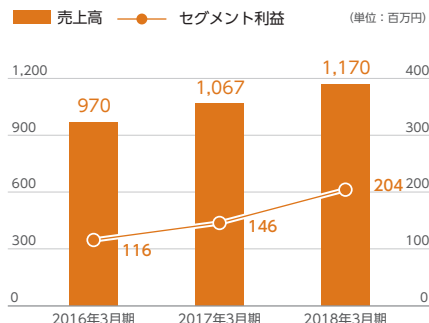
グラフィックスソリューション事業

事業別売上高比率



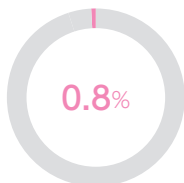
売上高	11億70百万円 (前年同期比 9.7% 増)
セグメント利益	2億04百万円 (前年同期比 40.2% 増)

展示会を通じた製品のPR活動を積極的に実施
デジタルサイネージ向け販売が堅調に推移



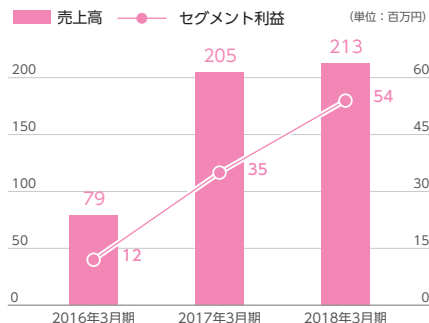
太陽光発電事業

事業別売上高比率



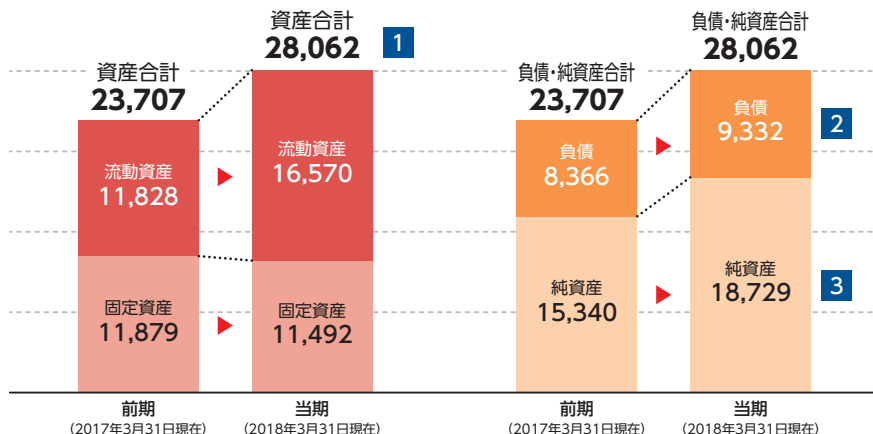
売上高	2億13百万円 (前年同期比 3.7% 増)
セグメント利益	54百万円 (前年同期比 51.8% 増)

三重県内で3か所の太陽光発電所(出力合計3.9メガワット)が稼働



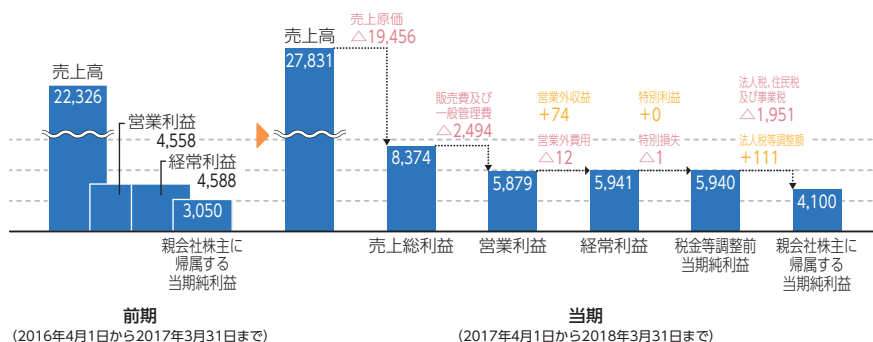
連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



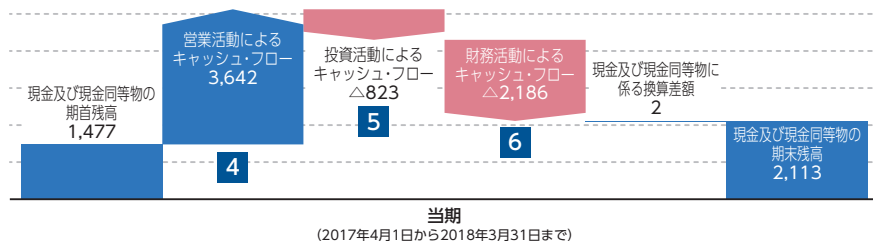
連結損益計算書の概要

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



ポイント

1 資産合計

資産合計は280億62百万円となり、前期末に比べ43億55百万円増加しました。主に受取手形及び売掛金等が増加しました。

2 負債合計

負債合計は93億32百万円となり、前期末に比べ9億66百万円増加しました。主に支払手形及び買掛金等が増加しました。

3 純資産合計

純資産合計は187億29百万円となり、前期末に比べ33億89百万円増加しました。利益剰余金が増加しました。

4 営業活動によるキャッシュ・フロー

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益59億40百万円、仕入債務の増加13億31百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加32億68百万円、たな卸資産の増加12億50百万円、法人税等の支払額16億61百万円であります。

5 投資活動によるキャッシュ・フロー

収入の主なものは、定期預金の払戻による収入1億50百万円であり、支出の主なものは有形固定資産の取得による支出9億41百万円であります。

6 財務活動によるキャッシュ・フロー

支出の主な内訳は、短期借入金の純減額14億67百万円、配当金の支払額7億19百万円であります。

会社情報

Corporate Data

会社概要(2018年3月31日現在)

社 名：ジャパンマテリアル株式会社
 (英文社名 JAPAN MATERIAL Co.,Ltd.)
 設立年月日：1997年4月28日
 資本金：13億1,781万5,250円
 上場市場：東証一部、名証一部
 代表者：代表取締役社長 田中久男
 従業員数：(連結)930名、(単独)235名 ※契約社員及びパートタイマー社員含む
 本店所在地：〒510-1311 三重県三重郡菟野町永井3098番2

関係会社(2018年3月31日現在)

名称	住所	資本金 (単位:百万円)	主要な事業の内容
株式会社東和商工	三重県四日市市	40	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMテック	三重県三重郡菟野町	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社クスノケミコ	三重県四日市市	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社JMエンジニアリングサービス	三重県三重郡菟野町	30	エレクトロニクス関連事業
株式会社PEK	大阪府堺市	20	エレクトロニクス関連事業
株式会社シーセット	東京都新宿区	19	グラフィックスソリューション事業
株式会社バック・ステージ※	東京都中央区	5	グラフィックスソリューション事業
茂泰利科技股份有限公司	台湾	NTD 110,000千	エレクトロニクス関連事業
ALDON TECHNOLOGIES SERVICES PTE LTD	シンガポール	SGD 340千	エレクトロニクス関連事業
ADCT TECHNOLOGIES PTE LTD	シンガポール	SGD 200千	エレクトロニクス関連事業

※非連結

役員(2018年6月27日現在)

代表取締役社長 田中久男
 常務取締役執行役員 深田耕志
 取締役執行役員 長谷圭祐
 取締役執行役員 小川圭造
 取締役執行役員 坂口好則
 取締役執行役員 甲斐哲郎
 取締役執行役員 矢内信晴
 取締役執行役員 田中智和
 社外取締役 町田和彦
 社外取締役 大島次郎
 常勤監査役 喜多照幸
 社外監査役 安井広伸
 社外監査役 春馬葉子

 執行役員 田中宏典
 執行役員 森正勝

グループネットワーク

海外

【台湾】

茂泰利科技股份有限公司



【シンガポール】

ALDON TECHNOLOGIES SERVICES PTE LTD
 ADCT TECHNOLOGIES PTE LTD



ジャパンマテリアル株式会社

本社工場
 四日市事業所
 四日市TGM事業所

株東和商工
 株JMテック
 株クスノケミコ
 株JMエンジニアリングサービス
 株PEK四日市事業所

株JMエンジニアリングサービス
 広島事業所

株東和商工
 大牟田事務所

株PEK
 堺事業所
 名古屋営業所
 株JMテック東浦事業所

株JMテック
 柏崎事業所

石川事業所
 株JMテック能美事業所
 川北事業所
 白山事業所
 株PEK能美事業所
 白山事業所

茂原サービスセンター
 株JMテック茂原事業所

東京本部
 株シーセット
 株バック・ステージ

株シーセット浜松オフィス

株式情報

Stock Information

株式の状況(2018年3月31日現在)

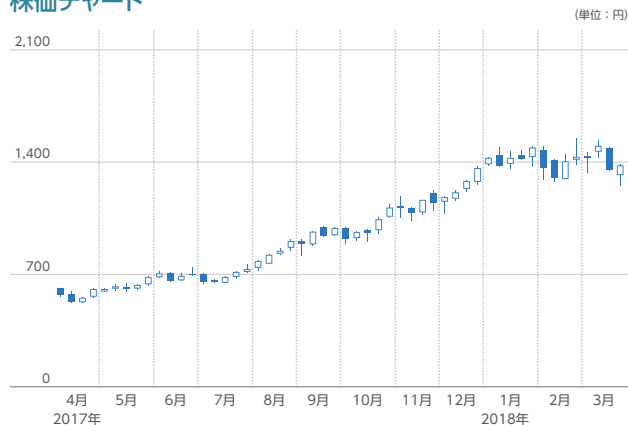
発行可能株式総数 324,000,000株
 発行済株式の総数 102,770,982株(自己株式2,378,538株を除く)
 単元株式数 100株
 株主数 4,656名

大株主の状況(2018年3月31日現在)

株主名	持株数 株	持株比率 %
田中 久男	20,314,100	19.8
田中 智和	15,699,500	15.3
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	10,819,500	10.5
喜多 照幸	4,353,260	4.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,559,500	2.5
株式会社百五銀行	2,160,000	2.1
NOMURA PB NOMINEES LIMITED OMNIBUS-MARGIN(CASHPB)	1,870,876	1.8
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,848,600	1.8
野村證券株式会社	1,800,049	1.8
JMグループ従業員持株会	1,524,300	1.5

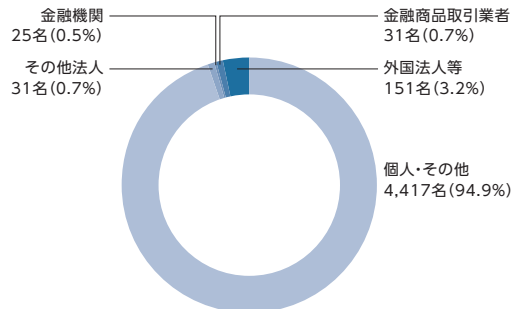
(注)持株比率は発行済株式総数から自己株式数(2,378,538株)を控除して計算しております。

株価チャート

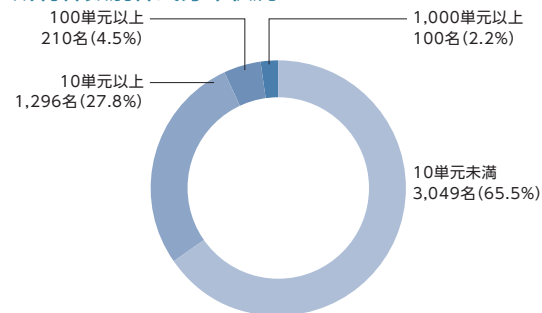


2018年3月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、当株価チャートでは2017年期初に分割が行われたものと仮定して算出してあります。

所有者別株式分布状況



所有株数別株式分布状況



株式分割について

株式の流動性向上及び投資家層の拡大を図ることを目的として、2018年3月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施いたしました。なお、毎年9月30日現在の株主様を対象とした株主優待の内容に変更はありません。

IRサイトのご案内

IR情報の詳細につきましては、当社IRサイトをご覧ください。

http://www.j-material.jp/jm_ir.html

株主還元

Premium Redemption to Shareholders

配当金の推移



2017年1月1日付けで普通株式1株につき2株、2018年3月1日付けで1株につき3株の株式分割を行っており、2016年3月期の期首に当該株式分割が行われたものとして表示しております。

株主優待制度のお知らせ

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に保有していただくため株主優待制度を導入しております。

毎年9月30日現在の株主名簿に記録された当社株式1単元(100株)以上保有されている株主様を対象に下記の通りQUOカードを贈呈いたします。



保有株式数	優待内容
5,000株以上	クオカード 5,000円分
1,000株以上 5,000株未満	クオカード 3,000円分
100株以上 1,000株未満	クオカード 1,000円分

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

配当金受領
株主確定日 3月31日(期末配当)

定時株主総会 毎事業年度末日の翌日から3ヶ月以内

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)

公告掲載方法 当社の公告は電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <http://www.j-material.jp/>

証券コード 6055

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でのお支払いいたします。

JM ジャパンマテリアル株式会社

〒510-1311 三重県三重郡菰野町永井3098番22
TEL.059-399-3821 FAX.059-399-3828
<http://www.j-material.jp/>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。